

第3回 学校運営協議会 報告

子ども家庭支援課 木嶋様にオブザーバーとして参加していただきました。

【教育活動の報告（評価・学習部会）】

道徳の授業より（1年生）

- 授業の工夫（心の数直線） ○ロールプレイ（登場人物の気持ちを理解）
- 板書の工夫（視覚的支援）

理科の授業より（6年生）

- 問題を解決するための道筋 ○情報活用（規則性を解明）
- 自分の考えを分かりやすく表現
- 工夫した手立て（日常生活との関わり／
ロイロの共有機能の活用／学習の流れが分かる板書）



その他

- 7組生活科（サツマイモを使った算数／スイートポテトづくり）
- 3年音楽（磯子区音楽会） ○2年算数（板書の工夫）
- 2年生活科
(動くおもちゃづくり／他者を意識した活動／振り返りと次時のつながり／見通し)
- 3年算数（既習事項の活用）
- 4年国語（子供と立てる学習計画／ゴールを見据えた活動／前時の学習の掲示）

【教育活動の報告（地域連携部会）】

いそご青い鳥

- ひまわり（苗を3年生が育てて、それを青い鳥にバトンタッチ）
- どんぐり銀行（汐見台小でどんぐりを集め、青い鳥が選別）

総合的な学習

- 「廃油キャンドル大作戦」（地域と繋がる活動がしたいという思いから始まった活動／課題を解決しながらオリジナルキャンドル作りへ）
- ケアプラザとのつながり
(地域の一員としてできることを考え実際に行動に移す子供の育成)

【意見交換】

- ロイロノートってどんなもの？こどもたちが作品を提出したり、保護者と職員のやりとりをしたりすることができるようになった。
- 地域連携は続けていくことが大切。コロナ3年間の空白が大きくエコパトロールの参加者が少なかった。学校でも広げていきたい。
- 子供同士の交わりの中で、みんなが考えていくところが素晴らしい。家庭学校地域の交わりから生まれてくるものがある。
- 学校教育ボランティアにたくさんの人人が応募してくれた。昨年までは16名、今回は37名に増えた。
- 地域と共にある学校づくりができており、教育的価値がある。学校運営協議会があることで、地域と学校のつながりが生まれている。
- AIではできないものを子供たちに学んでほしい。答えをすぐに求めないで、人と人との関わりを大切にして成長させたい。

汐見台小学校の教育活動に対するご意見をいただき、ありがとうございました。